



就任のあいさつをする初代会長の服部市長

## 「一宮西港道路推進協議会」を設立

5月2日、十四山スポーツセンターにおいて、尾張西部の9市町村(一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村)と名古屋港管理組合による、一宮西港道路推進協議会が設立されました。設立総会には、地元の国会議員や首長ら約80名が出席され、弥富市の服部市長が初代会長に選任されました。

「一宮西港道路」は、東海北陸自動車道の一宮ジャンクション付近から伊勢湾岸自動車道までを結び、西尾張中央道の渋滞緩和のほか、発生が危惧されている南海トラフ地震などの災害時の避難や救援活動に有効な地域高規格道路であり、総合的な地域発展のために必要不可欠な道路として、この協議会を通じて国などの関係機関に建設推進の働きかけを行います。

## 小学生が田植え体験

5月11日、十四山西部小学校で田植えの体験学習が行われました。1年生と5年生がJA あいち海部の協力のもと、小学校の東側の田んぼを使用して田植えの体験を行いました。

それぞれペアになり、協力して行い、初めての田植え体験に児童らは手足を泥だらけにしなが、「たのしかった」「お米ができるのが楽しみ」などと感想を教えてくださいました。

秋には2年生と6年生によって稲刈りが行われます。



児童による田植え体験



「藍亭」の前で

## 「藍亭」を視察

4月12日、中国から郁達夫研究会の皆さんが弥富市を訪れ、「藍亭」や孝忠園など弥富市の名誉市民で漢詩人の服部擔風の関連施設を巡りました。「藍亭」は服部擔風の使用していた書斎で、森津の藤公園にあります。

郁達夫は、大正時代に服部擔風と交流のあった中国文学者で、その縁で現在も郁達夫研究会の皆さんと弥富市との交流が行われています。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



田植え  
(十四山地区)



愛知県知事に弥富市をPR!

## スイーツと恋のまちをPR

4月13日、「やとみスイートハートプロジェクト」をPRするため、弥富市長はじめ、広報大使のやとみまたはちさん、海南病院長ら一行が愛知県知事を表敬訪問しました。弥富市を「スイーツと恋のまち」として盛り上げるプロジェクトで、「やとみ恋めぐりスイーツマップ」は、市内の公共施設、スイーツの店舗、ウイंकあいちなどで入手できます。

プロジェクトのPRの後、知事にスイーツを試食していただきました。

## 新入消防団員訓練

4月22日、海部南部消防署で、平成30年度の市消防団の幹部団員と新入消防団員の訓練が実施されました。

今年度は25名の新入団員が辞令を受け、訓練をしました。基本動作訓練、消防団についての基礎知識の講習、ホースを取り扱う技術の訓練が行われました。

新入団員は、一つひとつの訓練に真剣な表情で取り組んでいました。



小型ポンプ操法訓練の様子

## やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。



### 明治の東海道(その1)

弥富のまちに東海道があったことをご存知ですか。国道1号ができる前のことです。明治5年、当時の政府は熱田と桑名の間の海路(七里の渡し)と、熱田と佐屋を結ぶ陸路(佐屋路)を廃止し、新たに熱田から福田を通り、十四山を経て前ヶ須に至る陸路を東海道に決めました。現在の歴史民俗資料館前の通りです。

すでに江戸時代の終わりに佐屋川の土砂の堆積により佐屋港が機能しなくなったことから、港を下流の弥富に移す計画がありましたが、幕末の混乱により中止されていました。明治になって佐屋宿の村田宗之助が県や政府に嘆願して新たなルートとして実現させたのです。前ヶ須の蓮如堂前には村田宗之助の墓碑が残されています。

東海道の宿駅となった前ヶ須は発展し、郡役所や警察署、郵便局が置かれ、料理旅館や商店が軒を連ねました。

(弥富ふるさとガイドボランティア)



▲桑名、長島への渡し場「ふたつやの渡し」の碑

NEXT

次回から、東海道沿線の旧跡などを紹介していきます!